

※PLACIA…中小企業等へのプラズマ技術の普及を通して、地域の産業振興に貢献するという目的で設立されたセンター

※PLAM…プラズマ技術の産業応用に関心のある企業の方々を会員とする研究会

## 第2回プラズマ技術産業応用センター (PLACIA) & プラズマが拓くものづくり研究会 (PLAM)

### 国際シンポジウム開催直前特集

テーマ：先進プラズマ技術の産業応用

高度部材加工のキーテクノロジーであるプラズマ技術は今後の技術革新に有効かつ効果的であり、産業振興にも寄与することが期待されます。本シンポジウムでは「先進プラズマ技術の産業応用」をテーマに、プラズマ技術がものづくりにどのように役立つかについて、各国の産業応用の状況や企業による事例等を交えながらわかりやすく紹介します。

本シンポジウムが現在の景気低迷による閉塞感を打破し、産業活力を取り戻すための技術革新の糸口となることを願うとともに、企業及び各機関の皆様のものづくりへのヒントとなれば幸いです。(同時通訳もあります!)

[日時]平成 21 年 11 月 18 日(水) 10:00~17:10 (9:00 受付開始)

[場所]サイエンス交流プラザ大会議室(名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2271-129)

入場無料

講演時間	内容	講演者	
10:00~10:10	開会挨拶	(財)名古屋都市産業振興公社 常務理事兼プラズマ技術産業応用センター長	久米 道之
10:10~11:00	最新マイクロ波プラズマ技術とその応用	中部大学工学部 教授	菅井 秀郎 氏
11:00~12:00	真空下のプラズマ技術による表面改質 ~ドイツにおける応用分野、技術の状況および動向~	ドイツBAM(国立材料研究所) VI部 VI-4課 表面技術グループ長	Uwe Beck 氏
12:00~13:20	昼食 & ポスターセッション(大学等5団体によるプラズマ研究の紹介ポスター展示)		
13:20~14:00	PLACIAにおける 先進プラズマ技術によるものづくり	(財)名古屋都市産業振興公社 チーフテクニカルコーディネーター	高島 成剛
14:00~15:00	ドイツにおける 大気圧プラズマ技術応用の現状と今後	ドイツフ라운ホーファー表面技術研究所 大気圧プラズマプロセスグループ長	Michael Thomas 氏
15:20~16:10	韓国国立PDP研究センターのプラズマ研究 ~HPM、EUV、PDP、FIBと太陽電池~	韓国 光云大学校 教授兼国立PDP研究センター長	Eun-Ha Choi 氏
16:10~17:10	企業3社による産業応用事例紹介(株式会社豊電子工業 日本電子工業株式会社 荏原ユーージャイト株式会社)		
17:20~18:50	情報交換会		

情報交換会

19:00 発大曾根行

無料チャーターバスあります。

講演会終了後、17:20~情報交換会を開催します。(事前申込制/参加料 3,000 円)

希望される方は、参加申し込みフォームを情報交換会「参加」にてお申し込みください。

**最新マイクロ波プラズマ技術とその応用**

中部大学工学部 教授 菅井 秀郎 氏

プラズマ技術の産業応用が進んでいます。近年の材料プロセスにおける大面積化、大気圧化というトレンドの中で、マイクロ波プラズマ技術が注目されています。本講演では、マイクロ波プラズマに焦点を絞り、そのつくり方とメリットから始まり、薄膜シリコン太陽電池への応用をめざしたマイクロ波生成の最先端技術、新たな応用としてのPETフィルムとITO膜の密着性を向上させたタッチパネルの製造プロセスなどを紹介します。また、大気圧や液体中のマイクロ波放電にも言及し、マイクロ波プラズマの産業応用の将来を展望します。

**真空下のプラズマ技術による表面改質ードイツにおける応用分野、技術の状況および動向ー**

ドイツ国立材料研究所 VI 部 VI-4 課 表面技術グループ長 Uwe Beck 氏

ドイツは真空下のプラズマ技術分野における一大勢力であり、装置工学技術を始め、様々な応用分野においても世界をリードする位置にあります。表面改質プロセスの中で、真空下のプラズマ技術は既にほぼ全産業分野で使用されており、製品を高品質化するキーテクノロジーです。本講演では、ドイツおよび近隣諸国における真空をベースとするプラズマ技術の産業応用の現状、新たな挑戦について紹介し、将来を展望します。

**ドイツにおける大気圧プラズマ技術応用の現状と今後**

ドイツブラウンホーファー表面技術研究所 大気圧プラズマプロセスグループ長 Michael Thomas 氏

大気圧プラズマは技術的にも経済的にも優れるという特徴を生かして、プラスチック、太陽光発電、バイオ医薬品、マイクロシステム、鉄鋼、エレクトロニクス、木材および自動車部品を扱う多くの産業や技術分野でその利用が増大しています。本講演では、この魅力ある技術が現在、ドイツでどのように進展しているか、さらに大気圧プラズマの新しい応用の可能性について紹介します。

**韓国国立 PDP 研究センターのプラズマ研究～HPM、EUV、PDP、FIB と太陽電池～**

韓国光云大学校 教授兼 PDP 研究センター長 Eun-Ha Choi 氏

大韓民国ソウルの国立 PDP 研究センターはプラズマディスプレイパネル (PDP) およびパルス駆動電力技術の基礎研究を行うために 1998 年 5 月、韓国光云大学校に設立されました。韓国における PDP 研究の拠点であり、またプラズマプロセスに関する基礎研究も行っています。本講演では、PDP の最先端研究と韓国におけるプラズマ科学に関する研究を紹介します。

**PLACIA における先進プラズマ技術によるものづくり**

プラズマ技術産業応用センター チーフテクニカルコーディネーター 高島 成剛

PLACIA が保有する先進プラズマ技術である超高密度室温大気圧プラズマ装置 HU-MAP の中堅・中小企業におけるプラズマトライアルの事例を紹介します。従来の製造技術では不可能であったことをプラズマで実現したり、環境に優しいプロセスとしてのトライアル事例です。本講演の事例を参考にさせていただくことで、企業の方々が抱える課題解決のヒントになります。

申込方法

FAX 052(739)0682

下記、参加申し込みフォームに氏名・会社名・連絡先をご記入のうえ、ファクシミリにてお申し込みください。

※参加証は発行いたしません。こちらからお断りの連絡がない限りどうぞお越してください。

※電話でのお申し込みはできませんのでご了承ください。

※11月13日(金)までにお申し込みください。

**FAX 用 参加申し込みフォーム 【11/18(水)開催】**

勤務先	会社名		TEL	( )
			FAX	( )
	住所 〒			
参加者	所属部署	役職	氏名	電子メール
				情報交換会
				参加・不参加
				参加・不参加
				参加・不参加

平成 21 年 11 月 4 日発行 編集・発行：プラズマ技術産業応用センター (PLACIA)

〒463-0003 名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2268-1

お問い合わせ：tel.052-739-0680 fax.052-739-0682 e-mail:placia@u-net.city.nagoya.jp